

## 現こども病院

＜開院後約30年経過＞  
【開院】昭和55年

- ・老朽化  
旧耐震基準、雨漏り等
- ・狭隘化  
1床あたり73㎡  
平成5年以降に整備された小児専門病院5病院の平均1床あたり110㎡




## 新病院

- ・小児医療の充実
- ・周産期医療の整備・充実
- ・良好な療養環境

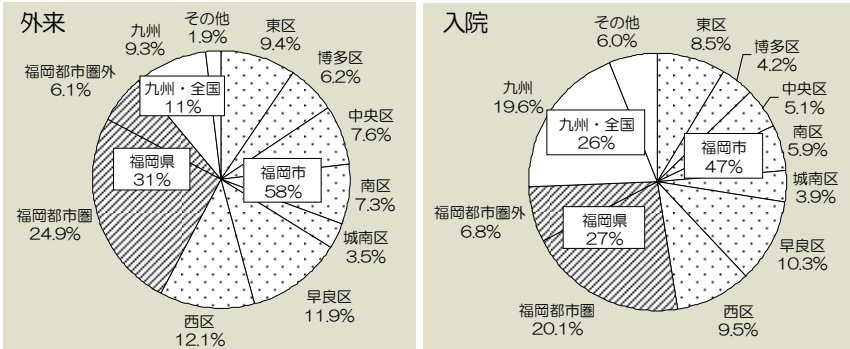


＜新病院イメージ図＞

### 患者の動向

高度医療を提供する小児専門病院として、広範囲から患者を受け入れる医療機関となっています。患者の内、福岡市民は約2分の1で、残りの2分の1は市外居住者が占めており、福岡市域を越えて九州、さらには全国各地から来院しています。

◎居住地別外来・入院患者構成比（H20）



## 1. 新病院の基本的な考え方

### 1) 基本理念

すべての子ども達やご家族の健康と明るい未来を願い、時代にふさわしい病院をめざします。

### 2) 全体像

① これまでの実績を継承するとともにさらなる充実を図ります。

現こども病院がこれまで培ってきた小児医療（高度・地域・救急）のさらなる充実を図るとともに、産科を新設し周産期医療を担います。

② 相互補完的な医療連携をめざします。

急性期の医療を担い、不足する医療については近隣及び各地の医療機関との機能分担と連携を進めるとともに、医療機関相互のネットワークの構築や情報提供機能の充実を図ります。

### 3) 医療運営の基本的な方向性

- ①説明責任と透明性の向上
- ②医療安全管理の充実
- ③人材育成の取り組み
- ④アジアへの貢献
- ⑤こどもの視点に立った療養環境づくり
- ⑥相談業務・広報業務の充実
- ⑦市民をはじめ多くの人に支えられる病院づくり

### 4) 病院経営の基本的な方向性

- ①戦略的経営の推進
- ②人材確保の取り組み
- ③地方独立行政法人への移行
- ④PFI方式の採用
- ⑤国、県等の支援

### 5) 施設整備の基本的な方向性

- ①高度な医療を的確に提供する空間づくり
- ②子どもの特性に合わせた空間づくり
- ③高い安全性を有する施設づくり
- ④将来の環境変化にも対応可能な整備

### 6) 診療科

#### ① 総合診療部門

総合診療科 ※

#### ② 専門外来

循環器科	感染症科	泌尿器科
小児神経科	こころの診療科（精神科）	眼科
内分泌・代謝科	放射線科	耳鼻咽喉科
血液・免疫科	整形外科	脳神経外科 ※
腎疾患科	心臓血管外科	産科 ※
新生児科	小児外科	皮膚科 ※
新生児循環器科	形成外科	歯科口腔外科 ※

※ は新設科

### 7) 病棟構成及び病床数

		新病院	現こども病院
小児・救急	集中治療室（PICU）	8床	6床
	重症治療室（HCU）	32床	—
	一般病棟 ①	150床	165床
	一般病棟 ②		
	一般病棟 ③		
	感染症病棟 ※ <sup>1</sup>	24床	
	救急病棟	20床	
小計	190床	171床	
周産期	新生児集中治療室（NICU）	12床	9床
	新生児回復治療室（GCU）	26床	10床
	産科病棟 ①	26床	—
	産科病棟 ② ※ <sup>2</sup>	6床	—
小計	70床	19床	
感染症※ <sup>3</sup>	1・2類感染病棟	—	24床
合計	260床	214床	

※<sup>1</sup> 妊婦感染症対応病床 4床を含みます。

※<sup>2</sup> MFICU（母胎・胎児集中治療室）に準じた施設規格とします。

※<sup>3</sup> 感染症法における 1類、2類の指定感染症を対象とした医療を指します。

## 2. 新病院の概要

### 1) 医療機能, 病床数, 施設規模

		新病院	現こども病院
医療機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>小児医療</li> <li>小児救急医療</li> <li>周産期医療</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児医療</li> <li>小児救急医療</li> <li>感染症<sup>※1</sup>医療</li> </ul>
病床数		260床 ※関係機関と協議中	214床 (うち24床は感染症 <sup>※1</sup> 病床)
施設	敷地面積	35,000㎡	16,794㎡
	延床面積	26,000㎡程度	16,574㎡
	駐車台数	450台 (患者用300台)	105台 (最大168台)

※1 感染症法における1類, 2類の指定感染症を対象とした医療を指します。

### 2) 整備場所

福岡市東区香椎照葉五丁目 26 番 39  
(アイランドシティ中央公園西側)



### 3) 事業収支見込み

#### ①整備費用 (主な初期投資費用)

(四捨五入表示)

項目	金額	備考
用地取得費	約 44 億円	12.7 万円/㎡ (平米当たり土地単価) × 35,000 ㎡ (敷地面積)
建設費	約 84 億円	32.5 万円/㎡ (平米当たり建設単価) × 26,000 ㎡ (延べ床面積)
外構工事費	約 3 億円	1 万円/㎡ (平米当たり工事単価) × 25,000 ㎡ (外構面積)
医療機器・備品費	約 36 億円	医療機器, 備品, 情報システム (現病院からの持ち込み医療機器は除く)

#### ②試算の結果 (30年平均)

(四捨五入表示)

項目	金額	備考
病院事業収益(A)	約 82 億円	入院収益, 外来収益等
病院事業費用(B)	約 87 億円	人件費, 材料費, その他経費 (減価償却費を除く)
企業債元利償還額等(C)	約 11 億円	整備費用及び医療機器購入等に係る元利償還金等
差引((B+C)-A)	約 17 億円	年間の現金収支差

### 3. PFI事業の概要

#### 1) PFI採用の目的

厳しい財政状況の中、病院経営の健全化や市の財政負担の軽減を図るため、初期投資費用の削減が求められており、設計・建設・委託業務を一括して発注することによるコスト削減効果が大きいPFIにより新病院の整備を行うこととしました。

#### 2) PFIによる効果

##### ①『設計・建設・維持管理の包括発注』による効果

- ・ 施工性や維持管理方法を念頭においた設計による、整備費用の削減や維持管理の効率化が図られる。
- ・ 設計・建設・維持管理の主体が同一であることから、建物や維持管理の不具合についてPFI事業者による一元的な対応が可能となる。

##### ②『性能発注』による効果

- ・ 建物の仕様を特定していないため、調達コストの安い建設材料の選定が可能となる。
- ・ 維持管理の業務手順、内容、回数などを指定しない性能発注のため、専門企業のノウハウや実績を最大限に活用することが可能となる。

##### ③『長期委託』による効果

- ・ 清掃・衛生管理業務、保安警備業務などの委託業務における、スタッフの学習効果による、業務の効率化やサービスの向上が図られる。

#### 3) 事業方式

- ① 事業方式 : BTO（建設後、PFI事業者から福岡市立病院機構に所有権を移転）
- ② 事業期間 : 19年4ヶ月（運営期間は15年1ヶ月）
- ③ 資金調達 : 施設整備費用の約1割を民間資金、約9割を起債で調達
- ④ 対象業務 : 施設整備業務、施設管理業務、利便施設運営業務

#### 4) PFI事業費

（四捨五入表示）

項目	金額	備考
施設整備費	約99億円	うち建物の建設費 約84億円
施設管理費	約75億円	PFI運営期間の約15年間に毎年約5億円
合計	約174億円	

#### 5) PFIにより得られるメリット

（四捨五入表示）

PFI事業の費用 (A)	従来手法による費用 (B)	コスト削減額 (C) = (B) - (A)
約174億円	約190億円	約17億円

PFIによる  
コスト削減率  
8.7%

※ 施設整備業務と施設管理業務を中心としたPFI事業は、庁舎・学校など全国で40例以上が既に供用されており、そのコスト削減率は平均で8.6%となっている。



## 6) PFI事業の入札手続きの状況

平成20年	6月9日	福岡市病院事業運営審議会答申
	6月10日	市の取り組み方針決定
	7月28日	整備場所等の決定
	12月	「新病院基本構想」策定
平成21年	3月26日	旧「実施方針」の公表
	4月28日	病院事業運営審議会開催
	6月～9月	<p>PFI対象事業等の見直し検討</p> <p>○医療環境の変化や経済動向、先行する病院PFIの課題を踏まえ、長期契約による将来リスクを軽減し、事業の安全性を高める観点から、病院運営に関する業務など、PFI対象業務の絞り込みを検討。</p> <p>○検討結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PFI対象業務の絞り込み（17業務⇒8業務）※6ページ参照</li> <li>・施設整備にかかる民間資金調達の変更（約5割⇒約1割）</li> </ul>
	9月18日	PFI事業の債務負担行為関係予算の議決（9月議会）
	10月28日	新「実施方針」の公表
	12月24日	入札公告
平成22年	4月1日	地方独立行政法人福岡市立病院機構が市から事業を承継
	4月13日	<p>PFI入札手続きの取扱い公表</p> <p>○H22年3月23日～26日で参加資格確認申請書を受け付けたところ、応募者が一人であったことから、入札説明書の規定に基づき一時中断。</p> <p>○入札日程の見直しを行うとともに、幅広い参加を募るため、参加資格要件の緩和などの見直しを行う。</p> <p>○5月中旬に入札公告を行い、H26年3月の開院時期に変更が生じないよう全体工程の調整等を行う。</p>
	5月17日	<p>入札公告の再実施</p> <p>○新病院整備等事業の入札公告を改めて行った。</p> <p>○幅広い参加を募るために、参加資格要件を拡大。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の実績「一般病床300床以上の病院」から「一般病床200床以上かつ3室以上の手術室を有する病院」に変更。</li> <li>・参加資格確認申請の受付期間「4日間」から「約2.5ヶ月間」に拡大。</li> <li>・提出書類の一部制限枚数の削減など、入札提案書作成負担を軽減。</li> </ul> <p>○入札の競争性を強化することにより、入札手続きの中断規定を見直し。</p> <p>○開院時期には変更が生じないよう全体工程を調整。</p>

## 7) PFI事業スケジュール（予定）

平成22年	6月15日～8月31日	参加資格確認申請書類の提出受付
	10月18日～20日	提案書の受付
	12月22日	落札者の決定
	12月 下旬	基本協定の締結
平成23年2月 下旬		事業契約の締結
平成23年2月～平成26年2月末		設計・建設・準備期間
平成26年3月		開院
平成26年3月～平成41年3月		維持管理期間
平成41年4月～平成42年3月		引継ぎ期間

参考1：PFI対象業務の絞込みの状況

コア業務	ノンコア業務（医療関連運営業務）													建物関連業務									
														施設整備業務		施設管理業務							
医療行為 経営行為	経営行為	統括マネジメント業務	経営支援業務	看護補助業務	医療材料・薬剤の調達業務	医療機器の調達業務	検査業務	開院準備支援業務	医療機器等保守管理業務	物流管理業務	消毒滅菌業務	給食業務	洗濯・ベッド管理業務	医療事務業務	総合案内・電話交換業務	利便施設運営業務	設計業務	建設業務	工事監理業務	建築物保守管理業務	設備保守管理業務	清掃・衛生管理業務	保安警備業務
福岡市立病院機構が自ら実施		(変更前) ←-----→ (変更後) 先行する病院PFIの課題を踏まえ、医療環境の変化に左右される可能性が高く、長期にわたる契約によりリスクが高くなる恐れがある医療関連運営業務をPFIの対象外とした。 これらの業務については、今後、医療環境等の状況を踏まえた適切な委託方法（長期契約、包括委託等）を検討する。													包括発注や性能発注などによる確実なコスト縮減効果が見込まれる建物関連業務及び建物と密接な関連性を有する利便施設運営業務について、PFIの対象とした。								

参考2：先行事例におけるPFI対象業務一覧

病院名称	コア業務	ノンコア業務（医療関連運営業務）													建物関連業務										
		医療行為	経営行為	統括マネジメント業務	経営支援業務	看護補助業務	医療材料・薬剤の調達業務	医療機器の調達業務	検査業務	開院準備支援業務	医療機器等保守管理業務	物流管理業務	消毒滅菌業務	給食業務	洗濯・ベッド管理業務	医療事務業務	総合案内・電話交換業務	利便施設運営業務	設計業務	建設業務	工事監理業務	建築物保守管理業務	設備保守管理業務	清掃・衛生管理業務	保安警備業務
運営開始	八尾市立病院																								
	高知医療センター																								
	近江八幡市立総合医療センター																								
	島根県立こころの医療センター																								
	東京都多摩小児総合医療センター																								
開院前	東京都がん・感染症医療センター																								
	神戸市立中央市民病院																								
	筑波大学付属病院																								
	東京都精神医療センター																								
	愛媛県立中央病院																								
	大阪府立精神医療センター																								
	京都市立病院																								
神奈川県立がんセンター																									
長崎市新市立病院																									